

機 関 誌

いびき

第 64 号



目次

令和8年度前期講座案内	1
令和7年度研修講座報告	8
各種お知らせ	10

令和8年3月

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

令和8年度前期講座案内

令和8年度 研修講座メインテーマ 『あはき師の未来を創る』

ご挨拶

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

所長 井上 敬

みなさま、いつも当センターをご活用いただき誠にありがとうございます。

さて、令和8年度の研修講座についてお知らせいたします。今年度の研修講座全体のテーマを「あはき師の未来を創る」といたしました。このテーマを踏まえ、より広く多面的にアプローチできるよう、「小児はり」や「介護アロマタッチケア」、「手指鍼」などといった多様な治療法に加え、「精神疾患」や「がん緩和ケア」など現代的な課題に対応する講座を企画いたしました。さらに最新の研究知見やウェルビーイング論も取り入れ、あはき師としての可能性を広げ、未来を創造する一年としたいと思います。

現代社会は、高齢化やストレスの増大など様々な課題を抱え、それに伴いもたらされる疼痛疾患や自律神経障害などの慢性疾患罹患者数の増加は、医療費の増大や労働力の低下など大きな社会問題につながります。また、難治疾患を抱える人々のQOLをどのように向上させていくかも検討が必要です。医学の進歩による外科的処置や化学療法が目覚ましい進化は多くの患者さんの“憂い”を軽減させています。しかし、その中であっても、人と人とのかかわりでしか解消できない“憂い”も存在しています。そしてここに、我々あはき師が果たすべき、そして他には代替できない重要な役割があると確信しています。『手を当てることから始まる価値観』を再確認し、未来を創造していければと思います。

来年度を展望いただき、みなさまの計画的、継続的な研修の一助となれば幸いです。みなさまの受講をお待ちしております。



I 受講のご案内

1 受講申し込み・受付

- (1) 受講申し込みの開始は、各講座の2カ月前の1日からです。定員となり次第、受付を終了いたしますので、できるだけお早めにお電話・メールにてお申し込みください。お申し込みの際は、氏名、使用文字（普通字・点字）、免許（あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう）、電話番号をお伝えください。
- (2) 講座直前のお申し込みの場合、資料をご用意できない場合がございます。
- (3) 受講をキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。
- (4) 土曜・日曜開催の講座は、両日同じ内容を行います。受講はどちらか1日とさせていただきます。
- (5) 講座開始15分前までに受付・入室してください。

2 日程

(1) 土曜日

12:30～ 12:50	12:50～ 13:00	13:00～ 16:00	16:00～
受 付	開 講 式 オリエンテーション	講 義 実 習 (休憩を含む)	閉 講 式

(2) 日曜日（センター指導員による講座）

9:00～ 9:20	9:20～ 9:30	9:30～ 12:30	12:30～
受 付	開 講 式 オリエンテーション	講 義 実 習 (休憩を含む)	閉 講 式

(3) 日曜日（外部講師による講座）

9:00～ 9:20	9:20～ 9:30	9:30～ 11:30	11:30～ 12:30	12:30～ 14:30	14:30～
受 付	開 講 式 オリエンテーション	午前の部	昼 休 食 憩	午後の部	閉 講 式

3 その他

- (1) 講師の承諾が得られた場合、視覚に障害のある方がメモのために録音機器を使用することができます。なお、写真・録画撮影は禁止です。
- (2) 講座資料は受講される方に1部ずつ配付します（普通字・点字・両方）。また、テキストデータを希望される場合、講師の承諾に応じて対応いたします。
- (3) 講座資料の複製ならびに SNS 等への転載は禁止です。
- (4) 受講中は、携帯電話等から音が出ないように設定してください。
- (5) 実技を行う講座では、適した服装で受講してください。
- (6) 外部講師による講座の際には昼食を斡旋します。お申し込みの際に希望の有無をお知らせください。なお、注文・キャンセルの受付は講座直前の木曜日、12 時までの期日厳守です。それ以降にキャンセルされた場合は、後日代金をお支払いください。
- (7) ゴミは各自でお持ち帰りください。
- (8) 講座案内（隔月発行）をメールにて配信しております。希望される方は送信先のメールアドレスをお知らせください。
- (9) 申し込み時にお聞きした個人情報は、講座に関する以外には使用しません。
- (10) 転倒防止等の観点から、上履きをご持参ください。
- (11) 受講の際、必要な方には取得単位を明記した受講証書を発行いたしますので、お申し込みの際にお知らせください。

Ⅱ 研修講座年間計画

【令和8年】

月	日	曜日	テーマ	講師
5	24	日	手指鍼の概要と治療の実際	早川 敏弘 先生
6	6・7	土・日	変形性股関節症への臨床的アプローチ	センター指導員
	28	日	介護アロマタッチケア研修	浅井 隆彦 先生
7	12	日	(午前) 手の痛みと最近の治療	射場 浩介 先生
			(午後) 様々な脱毛症とその最新治療	佐藤 知世 先生
	25・26	土・日	頸部及び胸郭上部の局所解剖と臨床症状	センター指導員
8	30	日	スポーツマッサージの実際	センター指導員

9	12・13	土・日	低周波鍼・経皮通電療法の基礎と臨床応用	センター指導員
10	4	日	小児はりの実際	枝元 直正 先生
	25	日	がん緩和医療における鍼灸手技治療	堀口 葉子 先生
11	15	日	ウェルビーイングを支える施術者の役割	中根 一 先生
	29	日	精神疾患と鍼灸治療	石井 弦 先生
12	12・13	土・日	めまいに対するアプローチ	センター指導員

【令和9年】

1	16・17	土・日	関節疾患に対する運動療法	センター指導員
	31	日	(午前) 地域で活躍するあはき師になるために	松橋 良 先生
(午後) 施術者として知っておきたいハラスメント対策			伊藤 昇平 先生	
2	14	日	(午前) 鍼灸はなぜ効くのか、鍼灸治療の未来	村上 正晃 先生
			(午後) 脳血管障害の最新治療とリハビリテーション	齊藤 正樹 先生

※7月12日、1月31日、2月14日の講座は、Zoom 配信も行う予定です。

Ⅲ 地域研修講座計画

月	日	曜日	地域	テーマ	講師
10	25	日	函館	頸部及び胸郭上部の局所解剖と臨床症状	センター指導員
11	7	土	帯広	めまいに対するアプローチ	センター指導員
	8	日	帯広	頸部及び胸郭上部の局所解剖と臨床症状	センター指導員
	15	日	札幌	ウェルビーイングを支える施術者の役割	中根 一 先生

※11月7日は、十勝三療研修会として開催いたします。

※詳細につきましては、各講座が近くなりましたら、改めてご案内いたします。

IV 前期講座案内

■ 5月24日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『手指鍼の概要と治療の実際』

講師：神戸東洋医療学院附属治療院

副院長 はやかわ としひろ 早川 敏弘 先生

手には、足底や耳と同様に、全身の組織や臓器の状態と対応した部位（反応点）が存在します。この手の反応点を捉え、鍼灸刺激を行うことで全身の治療を目指す方法として体系化されたものが「手指鍼」です。

昨年「耳鍼」についてご講義いただいた早川敏弘先生は、中国式の「落枕」や「腰痛点」などの手鍼から研究をはじめ、韓国の柳泰佑（ユウ・テウ）先生の高麗手指鍼、中国の方雲鵬（ホウ・ウンポウ）先生の方氏手鍼などを組み合わせて、独自の誰でも簡単にできる手鍼を開発されました。肩こりや腰痛など筋骨格系疾患に対して、最初に学べる遠隔取穴です。簡便で使いやすいので、ぜひご参加ください。

■ 6月6日（土）・7日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『変形性股関節症への臨床的アプローチ

～評価から実践的治療まで～』

講師：センター指導員

股関節痛は高齢者の活動性を制限し、生活の質を大きく左右する要因のひとつです。その中でも変形性股関節症は最も頻度が高く、臨床現場での的確な評価と治療が求められます。

本講座では、触診による評価の要点を整理するとともに、運動療法の基本的な実践方法、さらに臨床で活用しやすい手技を取り上げます。基礎から応用までを体系的に解説し、実践に直結する知識と技術の習得を目指します。

■ 6月28日（日）

あん摩マッサージ指圧師対象

『介護アロマタッチケア研修』

講師：あさいマッサージ教育研究所

所長 ^{あさい}浅井 ^{たかひこ}隆彦 先生

最も原始的な感覚である嗅覚は、人間の潜在的な本能に働きかけ、感情や自律神経の変化に直結します。アロマオイルは嗅覚に働きかけ、癒やしや活力を与える効果が非常に高いと考えられます。その効果は多岐にわたり、ストレス緩和だけではなく、不眠や認知症などの症状を改善させる効果も報告されています。

このようなことから、高齢者に対するアロマトリートメントは非常に有用であると考えられ、介護現場での活用も広がっています。

そこで今回は、長年にわたり、介護現場でのアロマの活用を実践されている浅井先生をお招きし、介護現場でのアロマセラピーや、アロマオイルを使用したマッサージについてご指導いただきます。

〈主な著書〉

介護アロマセラピー入門～香りでこころとからだを癒やす～
介護を助ける自然療法のヒント

■ 7月12日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師、一般対象

（午前）『手の痛みと最近の治療』

講師：札幌南整形外科病院 札幌手外科・骨研究所

所長 ^{いば}射場 ^{こうすけ}浩介 先生

手の痛みは日常生活を送るうえで非常に大きなストレスとなり、仕事や家事、趣味の活動に大きな支障をきたします。

近年では、スマホの頻用や女性におけるホルモンバランスの変化などの影響により、腱鞘炎や関節症などの疾患を認める方も多くなっています。特に最近では、女性の加齢とともに起こる「メノポハンド」にも注目が集まっています。

そこで、札幌手外科・骨研究所所長であり、手の症状を専門的に診療されている射場先生をお招きし、手指を中心とした疾患についての最新の話やその治療法についてお話しいただきます。

（午後）『様々な脱毛症とその最新治療』

講師：札幌医科大学医学部皮膚科学講座

医学博士 ^{さとう}佐藤 ^{ともよ}知世 先生

毛髪は容姿を構成する重要な要素であり、脱毛が起こった場合には、本人にとって心理・社会的に大きな影響が及ぶ可能性があります。しかし、脱毛を起こす要因は様々であり、適切な治療を行うことで毛髪を再生することが期待できます。

さらに、脱毛の予防や治療に関するサプリメントや薬品、機器なども多く出回っている一方で、中には効果のないものや危険性のあるものなどが存在し、これらの知識を持つことは、患者対応においても重要となります。

そこで今回は、様々な原因から起こる脱毛症・毛髪疾患について研究・治療を実践しておられる佐藤先生をお招きし、脱毛や毛髪に起こる疾患の病態をはじめ、男女による違いや最近の治療法、セルフケアなどについてお話しいただきます。

■ 7月25日（土）・26日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『頸部及び胸郭上部の局所解剖と臨床症状』

講師：センター指導員

頸部は頭部と体幹の間に位置し、比較的大きな可動性を有しています。そのため、この部を原因とした症状は臨床場面で多く遭遇します。また、最近ではスマートフォンやパソコンの長時間使用に伴い、構造的変化により様々な症状を訴える方が増えています。

本講座では、頸部とこれに続く胸郭上部までを一体的に捉え、解剖学的、形態的または生活習慣との関連性から見た臨床症状について学習します。

■ 8月30日（日）

あん摩マッサージ指圧師対象

『スポーツマッサージの実際 ～北海道マラソン 2026 ボランティアアママッサージ』

講師：センター指導員

北海道マラソン 2026 に出場するランナーを対象に、レース直後の疲労回復・ケアを目的としたマッサージ施術を行います。会場は昨年と同様、大通公園内を予定しております。

エリートランナーへの施術や筋けいれんに対する処置、急性期の筋へのアプローチなどを経験できる貴重な機会です。詳しい内容が決まり次第、皆様にお知らせいたします。多くのご参加をお待ちしております。

■ 9月12日（土）・13日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

『低周波鍼・経皮通電療法の基礎と臨床応用』

講師：センター指導員

低周波鍼・経皮通電療法は、患者の診察から得られた情報をもとに、症状の原因となる筋や神経に対して刺鍼または皮膚電極を貼付し、その部に電気刺激を与える施術法です。その結果、局所の循環改善、鎮痛効果が期待できます。専用の通電機器を使用し、一定の周波数、時間で行うことで、再現性のある治療が行えます。

本講座では低周波鍼・経皮通電療法の基礎的な理論や方法、注意点から臨床での応用について実習します。

令和7年度研修講座報告

今年度も受講者の皆様のご理解・ご協力を得ながら、おおむね計画通りに開催することができました。都合により延期となった講座もありましたが、15講座（20日間）を実施し、そのうち外部講師として10名の先生方をお招きすることができました。また、地域研修講座を2地区（札幌、帯広）で開催いたしました。本号では、今年度の講座の中から3つ取り上げてご報告いたします。

1 6月29日(日) 第2回基礎講座「安全な鍼灸施術のために」

あはき師が施術を行う上で必須の知識であるリスク管理について、東京呉竹医療専門学校より上原明仁先生をお招きし、「安全な鍼灸施術のために」というテーマでご講義いただきました。

前半は、鍼灸施術における有害事象についての内容で、具体的な症例について、様々な解剖画像とともにご紹介いただきました。鍼灸施術においては、深い部位への刺鍼によるものだけではなく、浅い部位だとしても神経への刺鍼や内出血により起こってしまった死亡を含む重大な事例について提示されました。また、灸施術においては、火傷がきっかけとなったと考えられる水疱や腫瘍発生の事例など、鍼灸施術の影響の大きさを感じました。

後半は、人体を層構造として捉え、経穴部への刺鍼の際に知っておくべき重要な知識について、ご説明いただきました。各経穴部に存在する筋、血管、神経について理解し、どの深さまでの刺鍼が安全か、根拠となるデータや画像とともに詳しく学ぶことができました。

危険な深度の具体的な数字を知ることとともに、刺鍼練習を重ねることで、より安全な刺鍼に近づけることができるため、自己研鑽の重要性を感じました。また、経験年数による有害事象の発生率には違いがないことも示され、長く臨床を経験していたとしても、リスク管理に対する意識、研鑽は必要であることを強く感じました。

2 8月31日(日) 第2回臨床講座「スポーツマッサージの実際」

北海道マラソン 2025 の会場で、「スポーツマッサージの実際」と題して研修講座を開催しました。今大会は海外ランナーを含め約2万人のランナーが参加し、そのうち404名の方々に下肢を中心としたマッサージ施術を行いました。

近年の中では比較的過ごしやすい気候のもと、走り終えたランナーの疲労回復、傷害予防のために10分間下肢のマッサージを行いました。ランナーの皆様からは、「とても気持ちよかった」「短い時間でも体力が回復しました」など、短時間の施術ではありましたが、好意的な感想が多く寄せられました。

施術者の方々は、道内外の様々な地域から参加されたランナーと楽しく談笑しながら、触れる機会の少ない長距離ランナーの下肢への施術を実践している様子がみられました。

この講座は次年度以降も開催予定です。5月以降に改めてご案内いたしますが、あま指師の皆様のご参加をお待ちしております。

3 11月9日(日) 道東地域研修講座「股関節痛に対する理療治療」

当センターでは、例年、道央(札幌)・道南(函館)・道東(帯広)の3地区で「地域研修講座」を開催しております。この講座は、北海道鍼灸柔整マッサージ師会との共催で行っており、道内のあはき師の資質向上および各地域での情報交換の場としても大変貴重なものです。今年度は残念ながら、道南は開催が叶いませんでした。

今回、道東地域研修講座では、センター指導員が「股関節痛に対する理療治療」というテーマで講義・実習を行いました。

股関節痛の訴えは多くありますが、その原因、病態は様々であり、それを的確に捉えることは、治療を行う上で非常に重要となります。今回は、股関節痛の中でも変形性股関節症に焦点を当て、その診方や治療法、セルフケアの内容などについて取り上げました。

さらに、最近の研究報告から新たに分かってきた内容や理学検査にも触れ、股関節痛の原因を推測するための診察法について、より詳しく行いました。また、患者自身がより行いやすいストレッチや体操などについてもご紹介しました。

年に1回の機会ではありますが、今後も日々の臨床に活かせる講座の企画・運営に努めて参りたいと思います。ぜひ多くの方にご参加いただき、各地域での理療治療の充実につなげていただきたいと思います。

最後になりますが、地域研修講座の開催にあたりご協力いただいた関係機関、団体の方々に感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「理療コンシェルジュ」の取組について

理療研修センターでは、「理療コンシェルジュ」という取組を行っております。これは、道内の視覚に障がいのあるあはき師の知識・技術の向上をサポートできるよう、様々なサービスを提供しております。

具体的なサービス内容は下記のとおりです。

利用を希望される場合は、お早めに電話・メールにてお知らせください。希望日時などを確認のうえ、対応致します。

日々の臨床に活かしていただくサービスを提供したいと考えております。ぜひご利用ください。

- (1) 施術のブランクや新たな技術を身に付けたい方に対し、研修生としてマンツーマンで継続的に研修を行います。
- (2) 所蔵している理療や医療に関する多数の書籍（点字もあります）、雑誌、DVDを自由に閲覧できます。なお、貸し出しは行っておりません。
- (3) 参加できなかった研修講座について、資料を閲覧したり、録音した音声を聴いたりできます（外部講師の講座は了承が得られたもののみ）。
- (4) センター指導員の行った研修講座について、平日にマンツーマンで講義・実習を行います。
- (5) 当センター所蔵の書籍・DVDの検索や代読、図の解説、DVD機器の操作、映像や動きの説明など、利用される方の希望に応じ、学びをサポートします。

ホームページのご紹介

理療研修センターホームページでは研修講座をはじめ、様々な情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

ホームページへは、「理療研修センター」と検索するか、以下のアドレスか、右のQRコードからアクセスしてください。

<https://www.riryo.hokkaido-c.ed.jp>



編集後記

「ひびき第64号」を最後までお読みいただきありがとうございました。

令和8年度は、これからのあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の役割を見据え、より多くの患者に寄り添うための知識・技術を学べるような講座内容となるよう企画しました。是非ご参加ください。

また、講座や機関誌、センターの事業等に関するご意見も随時受け付けておりますので、お気軽にお寄せください。今後とも理療研修センターをどうぞよろしくお願いいたします。

発行日：令和8（2026）年3月17日

発行：北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

住所：〒064-8629 札幌市中央区南14条西12丁目1-1

電話：011-533-3253

ホームページ：<http://www.riryo.hokkaido-c.ed.jp>

メール（代表）：ahaki@popmail.hokkaido-c.ed.jp



表紙：第4回臨床講座『浮腫に対する手技療法1～下肢編～』

講師：医療法人北斗 北斗病院 リンパ浮腫センター 阿部 聰 先生

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。